

くすりのしおり

注射剤

2012年08月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名:キサンボン注射用 20mg [くも膜下出血術後]

主成分:オザグレルナトリウム (Ozagrel Sodium)

剤形:注射剤

シート記載:



この薬の作用と効果について

トロンボキサン合成酵素を選択的に阻害してトロンボキサン A₂の産生を抑制し、プロスタサイクリンの産生を促進して、両者のバランス異常を改善するとともに血小板凝集抑制作用を示します。

通常、クモ膜下出血の手術をした後に血管が収縮することによっておこる脳虚血症状の改善に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（出血性脳梗塞、硬膜外出血、脳内出血、原発性脳室内出血）、脳塞栓症、心臓が悪い、意識障害や失語・失認などの皮質症状がある、大便秘がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

・あなたの用法・用量は<<<

:医療担当者記入>>>

- ・通常、24時間かけて静脈内に注射します。
- ・通常、2週間連続して注射します。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、出血性の副作用（硬膜外血腫・脳内出血・消化管出血・皮下出血など）、肝機能障害、発疹、発熱、喘息（様）発作、かゆみ、蕁麻疹、紅斑、血圧下降などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・頭痛、血便、皮下出血 [出血]
- ・血圧低下、呼吸困難、喉頭浮腫 [ショック、アナフィラキシー様症状]
- ・皮膚や白目が黄色くなる、全身倦怠感、食欲不振 [肝機能障害、黄疸]
- ・血が止まりにくい、歯ぐきの出血、あざができる [血小板減少]
- ・発熱、咽頭痛、全身倦怠感 [白血球減少、顆粒球減少]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2012年08月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名:キサンボン注射用 40mg [くも膜下出血術後]

主成分:オザグレルナトリウム (Ozagrel Sodium)

剤形:注射剤

シート記載:



この薬の作用と効果について

トロンボキサン合成酵素を選択的に阻害してトロンボキサン A₂の産生を抑制し、プロスタサイクリンの産生を促進して、両者のバランス異常を改善するとともに血小板凝集抑制作用を示します。

通常、クモ膜下出血の手術をした後に血管が収縮することによっておこる脳虚血症状の改善に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（出血性脳梗塞、硬膜外出血、脳内出血、原発性脳室内出血）、脳塞栓症、心臓が悪い、意識障害や失語・失認などの皮質症状がある、大便秘がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

・あなたの用法・用量は<<

:医療担当者記入>>

- ・通常、24時間かけて静脈内に注射します。
- ・通常、2週間連続して注射します。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、出血性の副作用（硬膜外血腫・脳内出血・消化管出血・皮下出血など）、肝機能障害、発疹、発熱、喘息（様）発作、かゆみ、蕁麻疹、紅斑、血圧下降などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・頭痛、血便、皮下出血 [出血]
- ・血圧低下、呼吸困難、喉頭浮腫 [ショック、アナフィラキシー様症状]
- ・皮膚や白目が黄色くなる、全身倦怠感、食欲不振 [肝機能障害、黄疸]
- ・血が止まりにくい、歯ぐきの出血、あざができる [血小板減少]
- ・発熱、咽頭痛、全身倦怠感 [白血球減少、顆粒球減少]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2012年08月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名:キサンボン注射用 20mg [脳血栓症]

主成分:オザグレレルナトリウム (Ozagrel Sodium)

剤形:注射剤

シート記載:



この薬の作用と効果について

トロンボキサン合成酵素を選択的に阻害してトロンボキサン A₂の産生を抑制し、プロスタサイクリンの産生を促進して、両者のバランス異常を改善するとともに血小板凝集抑制作用を示します。

通常、脳の血管がつまる急性期の脳血栓症に伴っておこる手足の麻痺などの改善に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（出血性脳梗塞、硬膜外出血、脳内出血、原発性脳室内出血）、脳塞栓症、心臓が悪い、意識障害や失語・失認などの皮膚症状がある、大便秘がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

・あなたの用法・用量は<<<

:医療担当者記入>>>

- ・通常、2時間かけて1日朝夕2回、静脈内に注射します。
- ・通常、2週間連続して注射します。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、肝機能障害、出血性の副作用（出血性脳梗塞・脳出血・消化管出血・皮下出血など）、発疹、貧血、喘息（様）発作、かゆみ、蕁麻疹、紅斑、血圧下降などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・頭痛、血便、皮下出血 [出血]
- ・血圧低下、呼吸困難、喉頭浮腫 [ショック、アナフィラキシー様症状]
- ・皮膚や白目が黄色くなる、全身倦怠感、食欲不振 [肝機能障害、黄疸]
- ・血が止まりにくい、歯ぐきの出血、あざができる [血小板減少]
- ・発熱、咽頭痛、全身倦怠感 [白血球減少、顆粒球減少]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

注射剤

2012年08月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名:キサンボン注射用 40mg [脳血栓症]

主成分:オザグレルナトリウム (Ozagrel Sodium)

剤形:注射剤

シート記載:



この薬の作用と効果について

トロンボキサン合成酵素を選択的に阻害してトロンボキサン A₂の産生を抑制し、プロスタサイクリンの産生を促進して、両者のバランス異常を改善するとともに血小板凝集抑制作用を示します。

通常、脳の血管がつまる急性期の脳血栓症に伴っておこる手足の麻痺などの改善に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。出血している（出血性脳梗塞、硬膜外出血、脳内出血、原発性脳室内出血）、脳塞栓症、心臓が悪い、意識障害や失語・失認などの皮膚症状がある、大便秘がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

・あなたの用法・用量は<<<

:医療担当者記入>>>

- ・通常、2時間かけて1日朝夕2回、静脈内に注射します。
- ・通常、2週間連続して注射します。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、肝機能障害、出血性の副作用（出血性脳梗塞・脳出血・消化管出血・皮下出血など）、発疹、貧血、喘息（様）発作、かゆみ、蕁麻疹、紅斑、血圧下降などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・頭痛、血便、皮下出血 [出血]
- ・血圧低下、呼吸困難、喉頭浮腫 [ショック、アナフィラキシー様症状]
- ・皮膚や白目が黄色くなる、全身倦怠感、食欲不振 [肝機能障害、黄疸]
- ・血が止まりにくい、歯ぐきの出血、あざができる [血小板減少]
- ・発熱、咽頭痛、全身倦怠感 [白血球減少、顆粒球減少]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。